

おくらんど

JA全農えひめ情報

2022

4
Apr.

May
5



特集

JA全農・愛媛県本部
「令和4年度事業計画」



▲J A全農えひめが平成18年(2006)に開発したデルフィニウム・パルフェが咲くハウス。パルフェは2010年ジャパンフラワーセレクション(JFS)受賞品種



▲パルフェは八重咲きで、澄んだ水色の花びらが美しい



▲洒落た着こなしの寺田さん。素敵です！

デルフィニウム

(J A周桑)

春爛漫の季節を迎え、西条市の寺田嘉明^{よしあき}さんのハウスではデルフィニウムが花期を迎えています。青系の花色は珍しく、1mの長い茎に50個もの花がつく豪華な姿はイベント会場や冠婚葬祭で多く利用されています。

中学時代には八丈島のサボテンを取り寄せるほど植物に興味があった寺田さん。キュウリ栽培からデルフィニウムに転じて27年になります。J A全農えひめが開発したデルフィニウムのオリジナル品種や、熱意のある指導員との出会いにより花づくりに惹かれたそうです。

花づくりに最も大切な土づくりに労力時間を惜しまず太陽熱で土壤消毒。米ぬかや竹チップ等研究した堆肥を入れ、もみ殻を撒き微生物を混ぜて完熟、化学肥料を使わない有機栽培にこだわっています。高い栽培技術で信頼も厚く新品種の先行試験栽培を任されたり、「全国花き品評会金賞」、「えひめ花のコンクール中四国農政局長賞」、今年2月には花きの先導的生産者として「愛媛県政発足記念日知事表彰」を受けています。また、10年に一度開催される国際園芸博覧会「フロリアード2012オランダフェンロー」に寺田さんのデルフィニウム・パルフェ(J A全農えひめ開発品種)を出展し、日本唯一の金賞となりました。

「花づくりは奥が深く面白く、花に囲まれていると気持ちも落ち着きます」と寺田さん。豪州視察で農夫の恰好に感銘し現地で購入した帽子とチェックのシャツがトレードマークです。「3年先の75歳を一つの区切りに考えています」。花に囲まれた優しい時間が刻まれていきます。

あぐり〜ど

2022年4 - 5月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

○営農と生活を支援し、元気な産地
づくりに取り組みます。

○安全で新鮮な国産農畜産物を消費者
にお届けします。

○地球の環境保全に積極的に取り組
みます。

今月の表紙



黄、紫、白、いろいろな色のタマネギが畑でござ
ろごろ。新タマネギの季節です。みずみずしく
て柔らかく、甘みがあっても辛みや刺激は少なく
て、包丁で刻んでも鼻の奥にツンと来たり、涙を
流さなくてすみますよ。サラダなど、生でおいし
くたっぷり、春をいただきましょう。

●表紙：タマネギ
はら ふみ（イラストレーター）

※『あぐり〜ど』は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）
する」という意味と「心をつなげる（Agreed）」という意味
を込めています。

農の風景Vol.227

デルフィニウム

2

〈特集〉

JA全農・愛媛県本部 「令和4年度事業計画」

8

機構改革と人事異動

9

全農愛媛県本部 令和4年度機構図&ライン管理職等配置

10

THE・ねっとわーく

12

ふるさと ESSAY VOL.295

看板屋てんまつ

スミダ ヒロミさん

14

トピックス

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉^{ほし}乾しいたけ

JA全農えひめ

ホームページ

<https://www.zennoh.or.jp/eh/>



■お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>
※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！

■JA全農えひめ「えひめの食」企画
<https://www.zennoh.or.jp/eh/food/>
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆えひめ飲料
<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス㈱
<http://ai-pax.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ㈱
<http://fresh-ranran.jp/>

◆えひめライス
<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー㈱
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

◆JAえひめ物流㈱
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

度)事業計画

(令和4～6年度)事業計画の具体策

②食農バリューチェーンの構築

- 強化と地域の
の強化
る革新的な
効率的な
- ア. 農畜産物流通に必要なインフラ整備と物流合理化
- イ. 総合営業体制の構築など実需者への営業強化による販売拡大
- ウ. 国産原材料を使用した魅力ある商品開発
- エ. 多様な販売チャネルによる国産農畜産物の消費拡大

④地域共生・地域活性化

- ・積極的投資の拡大
- た集荷網の化
- ア. 組合員サービスの充実に向けた新たな取り組み強化
- イ. 地域活性化に向けたスマートシティの基盤づくり
- ウ. 中山間地域を含めた生活・エネルギーインフラの維持

的課題

⑥JAグループ・全農グループの最適な事業体制の構築

- の取り組み
り組み
けた消費者
- ア. 本会の機能発揮に必要な人材育成とコンプライアンス体制の強化
- イ. 事業競争力強化に向けたグループ再編整備や他企業との事業連携
- ウ. JA経済事業の強化に向けた共同・広域事業の展開と業務効率化をはかる仕組みの構築

災害などの危機管理への対応

- 容への対応
- 復旧支援と災害への対応準備

「食と農を未来へつなぐ」
「持続可能な農業の実現」
「豊かでくらしやすい
地域共生社会の実現」
「協同組合としての役割発揮」
に取り組みます！

JA全農 3か年計画

令和4年度からスタートするJA全農の「3か年事業計画」は、①生産振興②食農バリューチェーンの構築③海外事業展開④地域共生・地域活性化⑤環境問題など社会的課題への対応⑥JAグループ・全農グループの最適な事業体制の構築を柱に取り組みます。

経営計画

●取組計画

2030年のめざす姿の実現に向けた全体戦略の実践による事業拡大を織り込み、取扱高は4年度4兆6,000億円、5年度4兆7,000億円、6年度4兆8,000億円を計画します。

●収支計画

当期剰余金は、段階的な取扱高の増加にともない、4年度86億円、5年度87億円、6年度92億円の計画とします。

なお、事業利益は4年度収支均衡、5年度5億円、6年度10億円を計画します。

●剰余金処分計画

出資配当は収支計画をふまえ、各年度とも2%配当を計画します。

●投資計画

生産振興や食農バリューチェーンの構築による販売力強化に向け、広域集出荷施設や青果物加工・選果施設などへの投資を積極的にすすめ、3か年で800億円程度を計画します。また、生産基盤の維持や小売・食品関連、輸出・物

2030年に向けた中期（令和4～6年）

情勢認識

- ・国内人口の減少・高齢化、農業就業者人口の加速度的な減少
- ・耕作放棄地の拡大、1経営体あたりの耕地面積増加
- ・単身世帯・共働き世帯の増加、食の簡便化ニーズの拡大
- ・新型コロナウイルス感染症による生活様式・消費形態の変化
- ・海外人口の増加、肥料・飼料原料などの国際的な調達競争激化
- ・SDGs（持続可能な開発目標）や「みどりの食料システム戦略」への対応
- ・事業環境の変化や事業拡大に対応できる人材育成が必要
- ・JA経済事業の基盤強化が急務

2030年のめざす姿

持続可能な農業と食の提供のために
“なくてはならない全農”であり続ける

2030年に 向けた 全体戦略

①生産振興

TAC活動の強化や革新的な技術等による生産性向上、JA出資型法人への出資など、生産基盤の維持を最重要課題として取り組みます。

②食農バリューチェーンの構築

集荷から販売まで一貫したバリューチェーン構築と国産原料を使用した商品開発、消費者への情報発信により、食料自給率と生産者所得向上に貢献します。

③海外事業展開

マーケットインの商品開発や実需者とのアライアンス、投資とリスク管理による輸出拡大、輸入原材料の安定調達により、海外事業の成長戦略をすすめます。

④地域共生・地域活性化

生活インフラの整備や再生可能エネルギーの普及など、地域のくらしや自然を守り、地域経済の活性化を支援します。

⑤環境問題など社会的課題への対応

環境負荷低減や地域循環農業に向けた総合的・段階的な取り組み、脱炭素化に向けた未来型の商品・技術開発をすすめます。

⑥JAグループ・全農グループの最適な事業体制の構築

多様な人材の確保や業務・事業体制の再構築、財務・投資の最適化、DX戦略の構築、ガバナンスの強化などをグループが一体となって取り組みます。

事業戦略

中期（令和4～6年度）で取り組む具体策

中期

①生産振興

ア. 担い手・家族経営への支援
農畜産物の生産支援

イ. 生産者への最適な生産提案

ウ. 生産拡大・品質向上に資す
技術・商品開発と実証・普及

エ. 地域の農業用施設の整備と
配送体制の構築

③海外事業展開

ア. マーケットイン・アライアンス
を基本戦略とする輸出事業

イ. 海外原料の安定調達に向け
拡充とサプライチェーンの強

ウ. 新たな事業機会の創出

⑤環境問題など社会 への対応

ア. 農業における環境負荷低減

イ. 脱炭素化の実現に向けた取

ウ. 持続可能な農業の確立に向
理解の醸成

めざす姿の実現と事業拡大

表1 JA全農 3か年（4～6年度）取扱計画 （単位：億円）

事業	年度	4年度	5年度	6年度
米穀農産事業		6,213	6,249	6,284
園芸事業		12,080	12,420	12,760
営農・生産資材事業		8,083	8,250	8,417
畜産事業		10,725	11,027	11,329
生活関連事業		8,899	9,055	9,210
合計		46,000	47,000	48,000

流関係などの事業連携強化に向け
た外部出資を実施します。

●要員計画
4年度末の職員数8、200名
を基準とし、事業拡大に対応する
ための新卒採用に加え、外部人材
等の積極的な登用など、年度別に
事業環境に対応した要員計画とし
ます。

愛媛県本部 令和4年度計画

愛媛県本部では、第38回JA愛媛県大会においてJAグループ愛媛のめざすべき姿として決議された「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」にもとづき、「持続可能な農業と食の提供のため」なくてはならない全農「であり続ける」という全農グループのめざす姿の実現に向け、長期・重点的に取り組む事業戦略を基本に、事業別マスタープランを策定し、JA営農経済事業の再構築に取り組むとともに事業計画の着実な実践をはかります。

耕種事業（営農企画部・園芸農産部・生産資材部）

JA・関係部門の連携強化により取り組んできた「農家手取り最大化プロジェクト」の実践結果をふまえ、担い手と生産労働力確保に視点を置いた「持続可能な産地づくり」の提案を軸に、集出荷施設の広域利用や県域物流体制、生産トータルコストならびに環境負

荷の低減につながる新たな生産技術の開発・実証に取り組む、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」をめざしていきます。

畜産事業

畜産生産基盤の整備や生産者支援をはかるため、畜舎賃貸事業の進捗管理や新規整備に取り組むとともに、県内畜産企業と連携した養豚生産基盤の確保や既存農場の再編整備に取り組みます。

また、生産・集荷・屠畜・販売の機能集約による畜産事業最適化の協議をすすめるなか、まずはJA全農ミートフーズ(株)愛媛支店と連携した肉畜集荷をはかるとともに、生産性向上対策の推進および防疫対策の徹底により、肉牛・肉豚生産者の所得向上に取り組めます。

生活事業

豊かでくらしやすい地域共生社会の実現をめざし、組合員・農業者の所得増大に向け、商品開発力ならびに販売力の強化につとめ、県内産農畜産物の消費拡大に取り組むとともに、農産物直売所とコンビニエンスストアとの一体型店

舗の運営による地産地消と地域住民の利便性向上につとめます。また、地域社会づくりへ貢献するため、地域のライフライン確保と総合エネルギー事業をめざした事業構築ならびにくらしの安全・安心と健康への貢献に取り組めます。

グループ会社

JAグループの会社として生産者・JA・消費者の期待に応えるよう、生産・加工・販売・購買・物流の各分野において将来のあり方を検討し、グループでの事業機能の向上をめざします。また、愛媛県本部グループ全体の健全経営を確立し、愛媛農業の振興支援に取り組めます。

事業別実施具体策

営農企画部

①「県域担い手サポートセンター」による各種就農イベント(就農・移住相談会、就農体験ツアー等)の拡充により新規就農者の確保に取り組めます。

②農作業受託など外部労働力利用による重点品目の団地化・周年

化実証ならびに大規模農家と指導人材の育成など組織的な生産体制構築に取り組めます。

③荷作り・集荷など個人規模拡大に向けた生産支援および労働力組み合わせにより周年雇用体制を構築し、生産基盤の維持拡大に取り組めます。

④担い手への総合診断による低利用・未利用経営体の系統事業利用拡大に取り組めます。

⑤県中央会・県信連等と連携のうえ、JAの経営課題や営農経済事業課題を共有し、県域ニーズに沿った経済事業強化メニューの提案を通じて、農家・組合員サービスの向上やJA経営基盤強化の取り組みをサポートします。

⑥各事業部と連携する中で、JAの物流実態の把握・課題の洗い出しをおこない、物流合理化の検討をすすめるとともに、JA域を越えた選果施設・集出荷施設の広域利用体制を構築し、コスト削減および販売力の強化に取り組めます。

園芸農産部

①米穀事業においては、愛媛県農

業再生協議会が設定した「生産の目安」を目標に需要に応じた品種別作付振興をすすめます。

早期米は「コシヒカリ」「あきたこまち」ですすめるとともに、普通期米は「にこまる」「ひめの凛」を中心に品種集約をはかります。特に生産性の向上および作期分散が図れる生産体制を構築するため、中食・外食向けとして「にじのきらめき」「ほしじるし」を中心に普及・拡大をおこないます。

②(株)ひめライス・TAC・関連部署と連携し、JA未利用・低利用生産者および法人との関係強化をはかり、集荷拡大に向けた総合推進をおこないます。また、生産者と実需者との結びつきを強固なものとするため、播種前契約の拡大に取り組みます。

③麦類事業においては、生産量日本一であるはだか麦の需給バランスを整えた作付計画をはかるとともに、実需から求められる小麦の作付をすすめ、県内の水田基盤の維持と生産者所得の確保に取り組みます。また、関係機関と連携し、排水対策をはじ

めとした基本管理の徹底をはかり、安定した収量確保に取り組みます。

④JAグループ集荷拡大に向けて米麦の共同乾燥施設の広域化等、新たな集出荷体制の構築・強化をすすめます。

⑤自然災害や異常気象に左右されない生産量の安定維持をはかるため、温州みかんの高品質安定生産対策（反収および正品率の向上）に取り組みます。土壌診断結果にもとづいた石灰資材および腐食有機物資材の施用率向上による土壌環境の改善をはかるとともに、マルチ被覆、着果調整資材、浮皮防止対策資材の普及・定着に取り組みます。

⑥県オリジナル品種については、JA・行政と連携し生産振興計画にもとづく産地化をはかり、統一した基準・施策の実践によりブランド確立に取り組みます。

⑦市場流通を基本とした卸売会社とのパートナー化をはかり、パートナー市場10社と連携し、実需者を明確にした予約相対取引に取り組みます。また、企画販売推進による買取販売を強化

し販路を拡大するとともに、県行政と連携した輸出事業の取り組み強化をはかります。

⑧愛媛県産果実の消費拡大・購入促進をはかるため、企画型販促等の店頭試食宣伝販売の充実、「オレンジロード」による果実の情報発信により消費者への効果的なPRに取り組みます。またWEBやデジタルを活用し、新生活様式に対応した宣伝活動を強化します。

⑨将来を見据えた選果場関連施設の再編、物流の合理化・効率化をはかるため、JA域を越えた広域選果や11パレット導入推進に取り組みます。

⑩JA域を越えた集出荷施設の広域利用促進と、新たな広域集出荷施設設置に向けた検討をすすめ、出荷労力の低減やコスト低減により大規模経営および生産者手取り確保をめざします。

⑪重点品目の設定および品目集約をすすめ、ロットの拡大による集出荷体制の整備およびロットの拡大による販売力強化に取り組みます。

⑫生産基盤を維持・拡大するため、

生産者個々の面積拡大を目指し、栽培から経営までの実践指導をおこなうことができる人材育成に取り組みます。

⑬市場や業務・加工ニーズを的確にとらえ、選ばれる産地を作り上げていくとともに、流通コストの削減や省力化をすすめ、生産者所得の向上と安定化に取り組みます。

⑭愛媛野菜のファン増大に向けた関西圏でのフェアの実施や「顔の見える産地」づくりをすすめ、効果的な消費宣伝活動に取り組みます。

⑮実需者ニーズに応じた各取引先のギフトならびにカタログ販売の企画見直し・新規提案により、取り扱いの拡大をはかります。

⑯アライアンス推進によりJAグループ・他企業との連携強化および機能の相互活用をすすめ、県内外量販店への販売拡大をはかります。

⑰加工業務事業者との販売チャネルの多様化に応じた商品開発・アイテム提案により、原料供給の拡大をはかります。また、新規取引先の開拓に取り組みます。

畜産部

①畜産生産基盤の整備をすすめるため、畜産クラスター等の各種補助事業の活用や畜舎賃貸事業の進捗管理と新規整備に取り組めます。

②県内畜産企業と連携した養豚生産基盤の確保をはかるとともに、既存農場の再編整備に向けた取り組みを実施します。

③「ふれ愛・媛ポーク」認定農場の経営向上をはかるため、ハイcoop種豚の安定供給にため、個別検討会の定期開催や全農クリニック検査事業およびWeb PICS（養豚生産管理システム）の活用促進に取り組めます。

④伊予牛「絹の味」の生産振興のため、安定した素牛供給をはかるとともに、野村臨時家畜市場の定期開催や、生産者協議会と連携した枝肉共励会等の定期開催に取り組めます。

⑤JA全農ミートフーズ(株)愛媛支店やJAえひめアイパックス(株)と連携して、肉豚175,000頭、肉牛2,700頭の肉畜集荷をはかるとともに、家畜伝染

病予防法にもとづいた防疫対策を推進し、各JA・県行政・本所と連携した生産基盤づくりに取り組めます。

⑥畜産事業の全農グループがめざすべき姿に向けて、関連会社と連携し事業最適化の協議に継続して取り組めます。

生産資材部

①肥料事業においては、化成肥料・果樹配合の銘柄集約による資材コストの低減に取り組むとともに、肥料を安定的に供給する体制の維持につとめます。また、土壌診断による担い手への適正施肥指導の強化と土づくり推進の面展開による高品質生産支援に取り組めます。

②農薬事業においては、病害虫発生予察をもとにした的確な防除指導の徹底、ジェネリック農薬および担い手直送規格・大型規格の取り扱い拡大、ホームセンター等の市場価格調査をふまえた弾力的な価格設定をおこなひ、資材コスト低減に取り組めます。また、無人航空機（ヘリ・ドローン）を活用した防除作業

受託による労働力支援の拡充に取り組めます。

③物流・店舗関係においては、中四国広域物流センターを核とした県域配送体制と引き取り拠点の再編による流通コスト低減とサービス向上やWEB発注システムなど物流システムの運用拡大をはかり、効率的な県域受注体制の確立に取り組めます。

④園芸資材事業においては、重点銘柄を中心とした被覆加工品の予約推進強化および需要結集大口引取りの促進による資材コスト低減に取り組めます。また、規格型低コストハウスや補強対策、省力化システムなど新技術の提案・普及をはかり施設園芸の振興に取り組めます。

⑤農機事業においては、「JA・県域農機事業一体運営」未参加JAへの段階的な参加を推進し、体制構築に取り組めます。また、共同購入トラクター（33馬力）の導入促進をはかるとともに農機コストの低減に取り組めます。

⑥段ボール事業においては、全農グループ唯一の直営工場として

の機能性を最大限発揮するとともに、ISO9001..2015にもとづく品質管理体制の強化により、安全で高品質な段ボールの安定供給と顧客満足度のさらなる向上につとめます。また、販売資材全般に亘り多様化する包装ニーズや流通の変革に対応し、省力化・効率化・低コスト化に繋がる付加価値商材の企画提案活動に積極的に取り組めます。

生活部

①県内産農畜産物消費拡大に取り組むため、積極的に商品開発をすすめる、地域農業の振興に寄与するとともにJAタウン（ネットシステム）を活用したEC事業の取り組みを強化し、県内農畜産物の安全・安心を消費者にお届けします。

②買物支援や高齢者対応など地域・組合員ニーズに対応した最適な運営方法によるライフラインを確保し、JA生活事業の収支改善を支援します。

③拠点型事業・県内産農畜産物販売拠点として、農産物直売所とコンビニエンスストアとの一体

型店舗「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」の運営に取り組み、事業モデルの構築による地産地消ならびに地域住民の利便性向上につとめます。

④葬祭協議会活動を通じ、葬祭事業の運営改善・施行レベル向上、葬祭関連商品の取り扱い拡大に取り組みとともに、ＪＡ葬祭事業の体制強化をはかります。

⑤エネルギー環境変化に対応した拠点配置最適化提案による事業基盤強化をはかるとともに、地域のくらし・営農に必要なエネルギーの安定供給につとめます。

⑥施主代行方式による事業展開のもと、地域に適した農業施設等産地インフラ整備・再編への支援に積極的に取り組みます。

管理部

①コンプライアンス意識の浸透・定着およびリスク管理対応の強化に継続して取り組み、人材育成強化に重点を置きます。また、関係部署と充分な協議・検討をおこない、より効率的かつ実効性のある態勢の確立に取り組みます。

②事業検討会等を通じて各事業の

表２ 愛媛県本部 令和４年度取扱高（総供給販売高）計画

（単位：百万円、％）

事業	４年度計画	３年度計画	前年計画比
園芸農産事業	44,975	45,747	98
畜産事業	985	18,290	5
生産資材事業	12,596	12,758	99
生活関連事業	12,637	10,976	115
合計	71,193	87,770	81

課題を共有する中で、課題解決に向けたサポート機能を発揮し、事業計画の達成につとめます。あわせて、将来的な収支シミュレーションをふまえ中長期的な視点で事業を検証し、持続可能な経営基盤の確立・強化に取り組みます。また、グループ会社の健全経営に向けた指導・支援に取り組みます。

③ＪＡとの意見交換会やＪＡ巡回等を通じて、会員の意思を事業運営に取り入れ、連合会として求められる役割・機能発揮の強

表３ グループ会社 令和４年度売上高計画

（単位：百万円）

事業	４年度計画	３年度計画
㈱ え ひ め 飲 料	21,609	22,347
ＪＡえひめアイパックス㈱	3,427	3,490
ＪＡえひめフレッシュフーズ㈱	3,324	3,186
㈱ ひ め ラ イ ス	3,102	4,291
ＪＡえひめエネルギー㈱	2,794	2,597
㈱ え ひ め フ ー ズ	500	537
ＪＡえひめ物流㈱	6,403	6,387
合計	41,159	42,835

化に取り組みます。

④提案・企画・交渉力強化に向けた研修の実施等による全農職員としての資質向上ならびに安定的な事業運営のための新規採用者確保と要員の適正配置をはかります。

⑤ＪＡ・組合員・消費者に全農グループ事業をより理解してもらうため、各事業部門と連携して県産農畜産物の消費拡大に向けた情報発信や安定生産・品質向上に向けた生産情報提供を拡充します。

経営計画

取扱計画

農業生産基盤の弱体化がすすむ中、持続可能な農業の実現に向け、生産振興の取り組みによる農業産出額の増加、新技術・新商品の開発、生販一体の事業運営を通じた系統利用率の向上をはかり、取扱高（総供給販売高）は７１２億円とします。

投資計画

県域における本会の役割・機能を発揮するため、実証用施設・広域利用施設の新規設置、段ボール工場稼働率向上に向けた機械設備の更新、事業所の施設老朽化対策、システム更新のための情報システム開発を計画します。

要員計画

事業環境に対応した適正な要員体制をはかることとし、会内要員は４年度期首２０８名、５年度期首２０９名、６年度期首２０６名とします。

機構改革と人事異動

J A全農えひめは、4月1日付けで令和4年度の機構改革と定期異動を実施しました。
 機構変更では、営農食糧部を営農企画部、園芸部を園芸農産部にそれぞれ名称変更し、営農企画部機構に経済事業整備課を新設しました。また、食糧生産課の名称を米穀課に変更し、園芸農産部機構に再編しました。
 この結果、令和4年度は、6部15課18事業所となります（令和4年度機構図はP.9に掲載）。
 人事異動は、令和4年度期首職員数206人中、異動者総数は67名です（課長・審査役以上の異動は以下のとおり）。

人事異動（令和4年4月1日付） ※課長・審査役以上

氏 名	新 任 部 署	旧 任 部 署
得能 祐治	（審議）副本部長 管理・畜産・生活担当	（審議）副本部長 管理・生活担当 管理部長 事務取扱
武田 孝二	（審議）副本部長 営農企画・園芸農産・生産資材担当	（審議）副本部長 営農食糧・園芸・畜産・生産資材
石丸 保博	（監）管理部長	（審）J A西日本くみあい飼料株式会社 出向
堀岡 茂	（監）営農企画部長	（監）営農食糧部長
松本 亮治	（監）園芸農産部長	（監）園芸部長
長尾 充博	（監）生産資材部長	（審）管理部次長 総務課長 事務取扱
矢野 貴之	（監）生活部長 生活支援課長 事務取扱	（監）生活部長
川崎 広範	（監）J Aえひめフレッシュフーズ株式会社 出向	（監）生産資材部長
中山 祐二	（監）株式会社ひめライス 出向	（審）株式会社ひめライス 出向
能田 和明	（審）園芸農産部次長 果実課長 事務取扱	（審）果実課長
波岡 幹人	（審）園芸農産部次長 東京事業所長 事務取扱	（審）野菜花卉課長
下村 成人	（審）生産資材部次長 段ボール工場長 段ボール工場製造課長 事務取扱	（審）生産資材部次長 段ボール工場長 段ボール工場製造課長 事務取扱 本所 営農・技術センター 生産資材研究室 段ボール愛媛分室室長 事務取扱
乗松 新	（審）総務課長	（副審）段ボール工場販売課（課長事故代行者）
田中 基司	（審）経済事業整備課長	（審）肥料農薬課長 J A中予物流センター所長 事務取扱
吉見 亮	（審）米穀課長 酒米センター所長 事務取扱 種子センター所長 事務取扱	（審）食糧生産課長 酒米センター所長 事務取扱 種子センター所長 事務取扱
山本 洋司	（審）果実課専任課長（基盤対策担当）	（副審）果実課専任課長（基盤対策担当）
森田 聖	（審）野菜花卉課長 菌床センター所長 事務取扱	（審）直販課長
阿部 剛久	（審）野菜花卉課専任課長（広域事業基盤整備担当） 愛媛さといも広域選果場所長 兼務	（副審）営農支援課（課長事故代行者）
三好 俊徳	（審）直販課長	（副審）東京事業所長
大宮 拓也	（審）肥料農薬課長 J A中予物流センター所長 事務取扱	（副審）直販課（課長事故代行者）
重信 智祥	（審）農機課専任課長（一体運営担当）	（副審）農機課（課長事故代行者）
田中 大輔	（審）生活支援課専任課長（店舗開発担当） ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場店長 兼務	（審）生活支援課長 ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場店長 事務取扱
越智 和弘	（審）J A西日本くみあい飼料株式会社 出向	（審）J Aえひめフレッシュフーズ株式会社 出向

【表の見方】 職能資格呼称等は略称表記しています。
 （参事）=参事役、（審議）=審議役、（監）=監理役、（審）=審査役、（副審）=副審査役

令和4年4月1日現在（6部15課18事業所）

令和4年4月1日現在（6部15課18事業所）





THE

ねつとわーく

「いつものえひめさん届けます!!」
県産品愛用運動・消費拡大運動を展開!

生活支援課

J Aグループ愛媛は、今年も4月6日から、「県産品愛用運動」と「消費拡大運動（J Aグループ愛媛農畜産物消費拡大推進本部・県内各J A・J A愛媛中央会・J A全農えひめ主催）」を実施しています。

この運動は、県内産主要農畜産物の消費拡大により、地域農業の振興とともに、良質で安全な県産品の愛用を進め、県民の健康増進をめざすため毎年取り組んでいるものです。ジュースの愛用運動は8月末まで、お茶は12月末までの期間限定となっています。是非ご賞味ください。

えひめ100みかんいよかん混合

愛媛県産の温州みかんといよかんを主体にブレンドした、濃い果汁感が楽しめる果汁100%ジュースです。

愛媛の味わい柑橘100

愛媛県産のポンカンといよかんを主体に愛媛の柑橘をブレンドした、

深みのある爽やかな味わいの果汁100%ジュースです。

愛媛の清見

愛媛県産の清見を使用した、甘みと酸味のバランスが絶妙な果汁30%飲料です。

POM 塩と愛媛の夏かんきつ

伯方の塩と愛媛県産夏みかんと河内晩柑を使用した水分・塩分補給、暑さ対策飲料です。

POM ポンスパークリング

ポンスパークリングの新しい美味しさが味わえる大人向けの果汁30%炭酸飲料です。

POM 愛媛せとかゼリー

柑橘王国「愛媛」の隠れた逸品柑橘を使用したゼリー飲料です。

愛媛の特煎茶

愛媛県産の茶葉を100%使用した、心地よい苦味とさっぱりした後味の緑茶です。

はだかんぼう麦茶

生産量日本一の愛媛県産はだか麦を100%使用した、昔ながらの味と香りが特徴の麦茶です。

いずれの商品も、例年と同様に数量限定で取り扱っています。運動期間中でも品切れの際には販売を終了しますので、早めのご注文をお願いします。

毎年県産品として県内外への贈答品に大変好評であり、今年も贈答需要に対応できるよう宅配も受け付けています。詳しくは最寄りのJ Aにお問い合わせください。

令和4年度「えひめみかん・いよかんジュース 県産品愛用運動・お茶消費拡大運動」価格表

(単位:円)

品名	規格 (ケース)	参考組合員 価格(税込)
えひめ100みかんいよかん混合	1ℓ×6本	2,540
愛媛の味わい柑橘100	1ℓ×6本	2,780
愛媛の清見	1ℓ×6本	2,330
POM 塩と愛媛の夏かんきつ	490ml×24本	2,400
POM ポンスパークリング	410ml×24本	2,400
POM 愛媛せとかゼリー	295g×24本	2,400
愛媛の特煎茶	500ml×24本	3,000
はだかんぼう麦茶	500ml×24本	3,000



えひめ100
みかんいよかん混合

愛媛の味わい
柑橘100

愛媛の清見

POM
塩と愛媛の夏かんきつ

POM
ポンスパークリング

POM
愛媛せとかゼリー

愛媛の特煎茶

はだかんぼう麦茶

「JA全農えひめPresents 山瀬理恵子のアス飯®」 がラジオ局FM愛媛でスタート！

JA全農えひめ presents
山瀬理恵子の
アス飯®



昨年好評をいただいたラジオコーナー「JA全農えひめPresents 山瀬理恵子のアス飯」が、4月2日にFM愛媛で「Season3」として再スタートしました。毎週木曜日12時5分から10分間の放送です。

サッカー元日本代表・現J2レノファ山口山瀬功治選手の妻で料理研究家の山瀬理恵子さんとMC山崎愛さんが毎週、健康を維持するための栄養素や「食」の大切さについてトークを繰り広げます。

また、「Season3」ではリスナーのみなさまから直接、「食」に関する相談を寄せていただき、その相談に対し山瀬理恵子さんが回答します。アス飯の視点から、お子様スポーツをしている家庭の食事や、体調を整える食事、体を作るうえで基礎となる「食」に関する悩みをズバリ解決！

さらに「アス飯料理教室」として、山瀬さんと一緒に愛媛の旬の食材を使った料理教室を実施します。開催日が決まり次第、JA全農えひめホームページや番組公式インスタグラム等でお知らせします。

「アス飯」とは

「アス飯」は、平成26年始動の京都新聞朝刊ジュニアスポーツ面で山瀬さんが連載していたタイトルコーナー名です。連載開始時、京都本社運動部のデスクだった岡本壮記者が「あしたのアスリート飯」を略して「アス飯」と名付けました。アスリートの夫を持つ山瀬さんが考案した手軽に作れる健康的な「アス飯」レシピは、スポーツをする人はもちろん、健康を考える大人や子ども、どんな人にも食べてもらいたい家庭料理です。「毎日何気なく食べている食材を深く知り、感謝の気持ちを持つて食べよう」そんな気持ちのこもったラジオ番組です。ぜひお聞きください♪

「JA全農えひめPresents 山瀬理恵子のアス飯」放送中！

【放送時間】 毎週木曜日
12:05～12:15
（「noonday pop」内）
【放送局】 FM愛媛

「JA全農えひめPresents山瀬理恵子のアス飯」 番組公式Instagram 更新中♪

毎週日曜日に最新情報を発信します！

URL : https://www.instagram.com/ja_zenno_asumeshi/



ふるさと ESSAY

Vol.295



看板屋てんまつ

「看板屋になる!」というのが
子供の頃の口癖だった
私は映画館の前に描かれている
看板を見るのが大好きで
いつも座り込んで眺めていた
ノートはいつも落書きだらけで
裏の白い広告やおわったカレンダーに
気の済むまで絵を描いた
だからといって
絵が上手なわけではなく
ただ好きなだけ
中学時代の担任の美術の先生には
下絵までいいのに
色を塗ったらがっかりするとわれ
何故だかわからず自分の絵を
ただ眺めていた
高校に入学後弓道部だった私は
絵を描くのも忘れて
部活部活の毎日だった

ある日練習をしていると
卒業した先輩が質問してきた
「スミダさんは
卒業したらどうするの?」
私「看板屋になりたいです」
先輩「家業を継ぐの?」
私「いいえ」
先輩「絵上手いの?」
私「…」
私はそこではたと気づいたのだ
自分が絵が下手な事に
絵の勉強をしなくちゃいけない
私は急いで美術の先生に相談に行き
美大受験のための
補講をうけることになり
美大にはデザインコースと
美術科コースがあつて
私を苦しめたのは色彩構成という
色塗りだった
夏休みも返上で

スミダヒロミ

HIROMI SUMIDA

■プロフィール■

版画家。ロン版画工房主宰。松山市在住。
1968年12月27日、福岡県生まれ。血液型はO型。中学生まで福岡で過ごし、高校時代を松山で送る。1987年、京都の嵯峨美術短期大学（現 嵯峨美術短期大学部）版画科へ進学。卒業後は公募展に出品、個展やグループ展を数多く開催し、精力的に活動が続いている。抒情詩的な作風が魅力。趣味は、家庭菜園、ゲーム実況をYouTubeでみること。
1998年「わたくし美術館賞」、2001年「日本童画大賞（イルフ童画館）優秀賞」、2007年版画フォーラム（東秩父村和紙の里）喜楽賞受賞。2020年「詩画集 つるさんはまるまるむし」を出版。2022年春の県展（第70回春季県展）出品予定。毎年、木版画カレンダーを制作。版画教室（月1回）開催中。





▲「帽子つながりで写真と版画を選んでみました」

京都の予備校へ絵を習いに行った毎日重い画板と道具を持って通ったある日「2つの円と1本の線で画面を構成しなさい」という課題がでて私は2つの円を描いて最後に黒い絵の具で1本線を描いたこれがいけなかった講師の先生に「この黒い線でこの絵は死んでいるなんでこんな線を描いた!」みんなの前で酷評され



▲タイトル：星の帽子

「帽子が好きなのでこんな帽子があればいいなと思って作りました」

それでも私は何で悪いのか
本当にはわからなかった

こんなことがあって

松山に帰って来て

色彩構成をしている私に

美術の先生は

「この絵どこが悪いのかわかる?」

私「わかりません」

そこで美術の先生は色彩構成という

色彩で画面を構成する

テストがあるデザイン科は無理

着彩という水彩画を描く美術科に

行け! とのことだった

私はとにかく

絵の勉強がしたかったので

美術科だった版画科を

受験する事になった

面接であなたの好きな版画家は誰?

と問われ

今をときめく版画家の名前を

知らない私は

棟方志功ですと答えた

もう一度きくけど好きな版画家は?

棟方志功です!!

何と受験は合格!

ここから私の

貧乏美大生ライフが始まるのだが

それはまた別のお話

●愛媛いよかん大使が県庁訪問

県産中晩柑の生産概況・出荷販売計画等を報告

J A全農えひめの武田孝二副本部長と愛媛いよかん大使らは1月27日、松山市の県庁を訪れ、田中英樹副知事に全国の生産量の約9割を占める愛媛いよかんをはじめ、甘平等県産中晩柑の販売本格化にあた

り、生産概況を報告するとともに、出荷販売計画について説明しました。
また、新型コロナウイルス対策に奔走する保健所（県7か所）に対して伊予柑を贈呈しました。

武田副本部長は「しっかりと販売に努めていきますので、格別の支援をよろしくお願いします」と協力を呼び掛けました。

伊予柑を試食した田中副知事は「かんきつを一杯食べていただき、肌も心も体も元気になって欲しいと思います。引き続き、愛媛県産かんきつのすばらしさを全国にPRいただけたら」と激励しました。



●愛媛いよかん大使が県内マスコミを訪問

バレンタインに伊予柑をプレゼント

愛媛いよかん大使は、2月4日、県内マスコミ各社を訪問し、バレンタインデーのプレゼントとして旬を迎えた愛媛いよかんを贈呈しました。

J A全農えひめがカップルの記念日として提唱する4月14日「オレンジデー」をアピールし、「バレンタインデー」「ホワイトデー」など各記念日ごとに旬のかんきつを贈りあう「愛のオレンジロード」の定着を図ろうと実施。愛媛新聞社や各テレビ局では、「色良し、味良し、香り良し」三拍子そろった愛媛いよかんをPRするとともに、「家族や大切な人と一緒に食べてほしい」と呼びかけました。



なお、民放各局とタイアップして視聴者向けのかんきつプレゼントキャンペーンも実施しました。



●愛媛県産イチゴを贈呈

児童福祉施設にひな祭りプレゼント

J A 愛媛野菜生産者組織協議会とJ A 全農えひめは、3月1日、松山市東本の児童養護施設・愛媛慈恵会に県内産イチゴ「あまおとめ」と「紅ほっぺ」「紅い雪」合わせて68パックを贈りました。

この取り組みは、社会貢献活動の一環として、楽しいひな祭りを迎えてもらおうと毎年実施。同協議会とJ A 全農えひめは、同施設を含めた松山市内3か所の児童福祉施設に県内産イチゴ240パックをプレゼントしました。

愛媛慈恵会には、J A 全農えひめ野菜花卉課の職員が訪問し、同施設の宮崎博文施設長にイチゴを手渡しました。

同施設には、この他にJ A 全農えひめ



イチゴを受け取る宮崎施設長（右）

から昨年12月にクリスマスプレゼントとして、もち米70kgと「P O M 愛媛ぽんかん」などジュース10ケースを贈っています。

●令和3年度愛媛県米麦大豆優良生産者表彰式を実施

良質米共励会表彰など33名を表彰

愛媛県米麦振興協会とJ A 愛媛米麦生産者組織協議会などは3月8日、「令和3年度愛媛県米麦大豆優良生産者表彰式」を伊予市で開催しました。今年は新型コロナウイルス感染対策として、規模を縮小し、表彰者と一部のJ A・行政関係者のみの参加で開催。愛媛県農産園芸功労知事表彰ほか、令和3年度の県良質米・麦作・大豆共励会や多収米収量コンテスト、ひめの凍食味コンテストの表彰式を行いました。



令和3年度 愛媛県米麦大豆優良生産者表彰式

共励会の受賞者は次の通り。かつこ内はJ Aと市町名。

◆良質米共励会【農家の部】「コシヒカリ・あきたこまち」部門

▽優秀賞Ⅱ伊東章（えひめ未来）、武田正（ひがしうわ）◆同【農

家の部「ヒノヒカリ・にこまる」部門▽最優秀賞Ⅱ一色勉（松山市）▽優秀賞Ⅱ重松美明（同）、若原之雄（えひめ未来）▽優良賞Ⅱ田坂邦夫（同）、井上一夫（同）、佐竹正文（同）◆同【集団の部「ヒノヒカリ・にこまる」部門】▽最優秀賞Ⅱ農事組合法人大頭（周桑）◆麦作共励会【農家の部】▽最優秀賞Ⅱ筒井治雄（えひめ中央）▽優秀賞Ⅱ西原昇（えひめ未来）、仙波正宏（松山市）◆大豆共励会【農家の部】▽最優秀賞Ⅱ柳美智夫（ひがしうわ）▽優秀賞Ⅱ井上裕也（同）◆同【集団の部】▽優秀賞Ⅱ永長生産組合（ひがしうわ）◆多収米収量コンテスト▽最優秀賞Ⅱ藤井省三（えひめ中央）▽優秀賞Ⅱ野中正憲（同）、福井順一（ひがしうわ）◆J A 全農契約栽培米多収コンテスト▽特別賞Ⅱ林隆徳（えひめ中央）◆農産園芸功労知事表彰（水田農業部門）▽日野進（西条市）、越智三英（西予市）、越智栄一（東温市）、神野誠二（今治市）◆ひめの凍食味コンテスト▽最優秀賞Ⅱ喜安正和（松前町）▽優秀賞Ⅱ近藤能毅（今治市）、福井慎也（西予市）、梶原雅嗣（同）、越智明（今治市）▽優良賞Ⅱ土居隆洋（宇和島市）、西原攸介（今治市）、河野昌博（西予市）、芒原営農集団（同）、中野敏彦（東温市）

🍌 今月の表紙について、いちご大好きです。我が大島にも美味しいイチゴを栽培していらっしゃる方がいます。目にもいいとか。これからもチョコチョコ食べます。いちごの妖精（マスコット？）とても可愛いです。

（今治市・PN：ぶくぶくさん）

🍌 私もちごは大好物なので、冬時期はよく食べています。大島のいちごも是非食べてみたいです！

🍌 農の風景を読んで。愛媛の伊予柑が「いい予感」な果物として、全国の受験生に届くのがなんだか嬉しいです。私自身受験生なので「いい予感」で大学合格したいです！

（松山市・PN：K. S さん）

🍌 私もち受験生の時には、とにかく何でもゲン担ぎに走った記憶があります。今回の愛媛伊予柑が受験生の「いい予感」に繋がっていることを心からお祈りしています！

🍌 ふるさとESSAYを読んで。苦難にもかかわらず前を向いて努力をしていることに感銘を受けました。こちらとしても勇気づけられることが多いです。

（新居浜市：伊藤俊一さん）

🍌 エッセイでも様々な苦労や葛藤が描かれていましたが、それでも前向きに進む姿は胸にこみあげるものがありました。清水さん、3回のエッセイ執筆、本当にありがとうございました！

🍌 北京オリンピック開催中に、全日本小学生カーリング選手権大会というのがあったんですね。北国のスポーツと思っていましたが、愛媛の小学生が参加し、準優勝したのですね。おめでとう！奥深いスポーツで頭も体力もいるスポーツですね。

（上島町：福田りつ子さん）

🍌 ウインタースポーツの本場である北国勢に競り勝っての準優勝というのは本当にすごいことだと思います。これを皮切りに、愛媛のウインタースポーツがどんどん発展していくことを願っています。

🍌 毎年、いよてつで開催しているえひめかん祭りは会場に行くことはできませんが、あぐり〜どで開催について読んでいます。えひめはみかんがおいしく、いろいろな種類のかんきつを毎年楽しんでいます。農家の皆さんありがとうございました。

（今治市・PN：F. A さん）

🍌 毎年記事を読んでいただいていることとありがとうございます！今はコロナ禍で難しいかもしれませんが、機会があれば是非みかん祭りにもお越しください！！

🍌 我が家ではブロッコリーはゆがいてサラダにするのが定番でした。また、芯はいつも廃棄していました。もったいないことでした。今回ブロッコリーの芯のポタージュに挑戦してみました。

（今治市：阿部紗弓さん）

🍌 「食材を余すことなく使う」という大切なことですが、どのように使えば美味しくできるのかというのは独学では中々分からないところだと思います。そういった意味でも今回のレシピは私にとっても非常に勉強になりました。

編集後記

私事です、4月から園芸部果実課に配属となり、今回で「あぐり〜ど」の編集は最後となりました。3年前、記事の書き方もカメラの扱い方も分からず失敗もたくさん経験しましたが、取材先では素晴らしい出会いがあり、多くのことを学ぶことができました。特に、記念すべき1000号の編集に携われたことは大切な思い出です。本当にありがとうございました。

（純）

今月のクイズ

4月から開始するFM愛媛のラジオ番組は？
山瀬理恵子の「〇〇飯」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2022年5月15日（当日消印有効）

発表

「あぐり〜ど」6-7月号で発表します。

当選者発表

2-3月号の答えは「第④④回」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

石村 繁弘さん（四国中央市）
近藤 千恵さん（西条市）
馬越 美保さん（今治市）
越智 節美さん（今治市）
白石 千帆さん（今治市）
田中 末広さん（今治市）
正 金郎さん（松山市）
野本真由美さん（松前町）
宮内 章行さん（松前町）
薬師神喜久代さん（西予市）

NOW NOW

COOKING



▶(右側) 乾しいたけのアランチーニ、(左側) 乾しいたけと鶏肉の和風アヒージョ、(後) 乾しいたけ入り白菜ロール

今月の素材 ほし 乾しいたけ



戻し方は冷蔵庫でひと晩水に浸けるだけ
三大うま味成分・グアニル酸を味わおう

指導／愛媛調理製菓専門学校 山崎 翔 先生

乾しいたけと鶏肉の和風アヒージョ

〈材料・4人分〉	※1人あたり約450kcal (オイルは除く)
鶏もも肉	1枚
乾しいたけ	4個
ミニトマト	8個
ブロッコリー	4個
ニンニク	2片
オリーブオイル	400cc
和風だし(顆粒)	小さじ1
塩	適量
バケット	4枚

〈作り方〉

- ①鶏肉は一口大に切り、ニンニクはつぶし、乾しいたけは戻して4等分に切る。
- ②鍋にすべての材料を入れ、オリーブオイルを注ぎ、和風だしと塩を加え弱火にかける。
- ③鶏肉に火が通れば、器に盛り、バケットを添える。

乾しいたけ入り白菜ロール

〈材料・4人分〉	※1人あたり約272kcal
合挽ミンチ	250g
乾しいたけ	4個
タマネギ	100g
パン粉	15g
牛乳	30cc
ケチャップ	10g
塩	3g
白菜	4枚
水	400cc
しいたけ戻し汁	50cc
料理酒	50cc
みりん	50cc
和風だし(顆粒)	小さじ1
薄口しょうゆ	小さじ1
塩	適量

〈作り方〉

- ①タマネギ、戻した乾しいたけをみじん切りにする。
- ②④をボウルに入れ、しっかりと混ぜ合わせる。
- ③白菜はボイルし、水気を拭き取り、②を包み込み俵型に丸める。
- ④⑥を鍋に合わせ入れ、ひと沸きすれば塩で味を整え、③を入れて落とし蓋をし弱火にかける。
- ⑤15分程度煮込み、肉に火が通れば完成。
*ケチャップは乾しいたけと合わせると旨味アップの隠し味!

乾しいたけのアランチーニ

〈材料・4人分〉	※1人あたり約191kcal
冷やご飯	120g
タマネギ	30g
乾しいたけ	2個
ベーコン	20g
しいたけ戻し汁	50cc
生クリーム	50cc
粉チーズ	30g
薄力粉	適量
卵	1個
パン粉	適量
塩・コショウ	適量
揚げ油	適量

〈作り方〉

- ①戻した乾しいたけ、タマネギ、ベーコンをみじん切りにする。
- ②鍋に①の材料を入れ弱火で軽く炒め、④を入れてひと沸かし、ご飯を加える。
- ③軽く煮て水分が減れば火を止め、塩・コショウで味を整え、粉チーズを加えて粗熱をとり、4等分に分けて丸める。
- ④③を薄力粉、溶き卵、パン粉の順で衣をつけ、170～180℃の油でカラッと揚げる。
*好みで、トマトソースを添えてもよい。



愛媛
せとか
ゼリー

せとかは濃厚な香りと甘み、
とろけるような果肉が特徴の柑橘です。
せとか特有の華やかな味わいを
ぶるりんとした舌触りやさしいゼリーの食感で
お楽しみください。



株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-923-1522

<https://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <https://www.pom-j.com>

いつでも えひめさん 届けます。

いっしょに
まっというー
いっけん

**全国発送
承ります**

えひめ100 みかん・はかん混合	愛媛の味わい 柑橘100	愛媛の清見	POM 塩と愛媛の夏かんきつ	POM ポンズパークリング	POM 愛媛せとかゼリー	愛媛の特煎茶	はだかんほう麦茶
参考組合員価格 2,540円(税込)	参考組合員価格 2,780円(税込)	参考組合員価格 2,330円(税込)	参考組合員価格 2,400円(税込)	参考組合員価格 2,400円(税込)	参考組合員価格 2,400円(税込)	参考組合員価格 3,000円(税込)	参考組合員価格 3,000円(税込)
1,000ml×6本/ケース	1,000ml×6本/ケース	1,000ml×6本/ケース	490ml×24本/ケース	410ml×24本/ケース	295g×24本/ケース	500ml×24本/ケース	500ml×24本/ケース
愛媛産の温州みかんといよかんを主体にブレンドした濃い果実感が楽しめる果汁100%ジュースです。	愛媛産のポンカンといよかんを主体に愛媛の柑橘をブレンドした深みのある爽やかな味わいの果汁100%ジュースです。	愛媛産の清見を使用した、甘味と酸味のバランスが絶妙な果汁30%飲料です。	伯方の塩と愛媛県産夏みかん・河内晩柑を使用した水分・塩分補給、暑さ対策飲料です。	「ポンジュース」の新しい美味しさが味わえる大人向けの果汁30%炭酸飲料です。	柑橘王国「愛媛」の隠れた逸品柑橘を使用したゼリー飲料です。	愛媛産の茶葉を100%使用した、心地よい苦味とさっぱりとした後味の緑茶です。	生産量日本一の愛媛県産はだかんほうを100%使用した、昔ながらの味と香りが特徴の麦茶です。

※宅配運賃について ●同一受注同一送付場所で5ケース以上の場合は配送運賃は無料です。●5ケース未満の場合は、ケース毎に700円(税込)加算します。

お問い合わせ・ご注文は 県内各JA・JA全農えひめへ

